

2020年3月24日

## 消化器内科に通院中の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 内視鏡的総胆管結石除去後の遺残結石評価における経鼻胆道ドレナージチューブ造影の有用性の検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道医療センター 菊地 誠志

[研究責任者名・所属] 北海道医療センター 消化器内科 永井 孝輔

(2020年4月1日以降は加藤 貴司)

[研究の目的] 遺残結石による胆管炎を減少させるため、経鼻胆道ドレナージチューブを留置し、造影にて遺残結石の評価を行い、遺残結石の risk factor も検討する

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2014年1月から2019年10月までの間に北海道医療センター消化器内科に総胆管結石での通院または入院した方

○利用するカルテ情報

カルテ情報：年齢，性別，結石の個数，結石径，総胆管径，乳頭処置の有無，使用した処置具

[研究実施期間]

実施許可日～2020年5月15日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

札幌市西区山の手5条7丁目1-1

北海道医療センター 消化器内科 担当医師 永井 孝輔

(2020年4月1日以降は加藤 貴司)

電話 011-611-8111 (代表) FAX 011-611-5820